



施設へ放流されるサケの稚魚

4月6日、幌沖内川上流でサケ稚魚放流が行われ、新星マリン漁業協同組合、道立水産ふ化場らの関係者が、サケ稚魚約200万匹を2日間にわけて稚魚中間育成施設や、町内の川へ放流しました。

稚魚は、道立水産ふ化場道北支場から輸送され、回帰率を高めるために、中間育成施設で2週間飼育した後、川に放流されました。

放流されたサケは、約4年後に2%程の回帰率で遡上するとされています。

元気に戻れと願い込め

幌沖内川でサケ稚魚放流



住民を代表して決意宣言する藤田卓也さん

4月12日、小平町交通安全推進協議会主催の交通安全住民大会が小平町文化交流センターで開かれ、町民や交通関係機関から約130名が参加しました。

留萌警察署の松谷扇太郎交通課長の講演のほか、ビデオ上映では飲酒運転への注意喚起がなされました。

また、住民を代表して小平町商工会青年部の藤田卓也さんが決意宣言を行いました。大会終了後に、交通安全旗の波運動が国道232号線沿道で行われ、通過するドライバーに安全運転を呼び掛けました。

事故のない町へ

小平町交通安全住民大会



バッジを授与される新入園児

4月13日・18日に小平・鬼鹿幼稚園にてこぐまクラブ発会式が開催されました。

こぐまクラブ発会式は、幼稚園児の父母と先生が相互に協力し、クラブ運営委員と幼稚園が一体となって園児を交通事故から守るため、交通安全教育の徹底を図ることを目的として、毎年実施されています。

小平幼稚園で行われた発会式では、道路を模したパネルを使い交通ルールを学んだほか、小平駐在所の東所長より交通ルールの説明がありました。また、新入園児には交通安全推進委員よりバッジが授与されました。

交通ルールを学ぶ

こぐまクラブ発会式



株式会社 和秀 様
(居原田隆夫代表取締役)
小平中学校グラウンド除雪作業を実施



向井建設 株式会社 様
(向井勝広代表取締役)
小平小学校グラウンド除雪作業を実施

ご厚志ありがとうございます

町内で地域貢献